奈良佐保短期大学附属生駒幼稚園

子ども時代を子どもらしく のびやかに のびやかに 教育目標

日々、取り組んでいる幼稚園教育について、職員が自己評価をした結果をお知らせいたします。 全員が各項目事に1年を振り返り、幼児一人ひとりを思いらかべ、達成したところと、更なる課題をみつけるべく、評価しています。

○生き生きとした たくましい子ども

○思いやりのある あたたかい心の子ども

○ものごとを工夫し 考えてやりぬこうとする子ども

努力を要する 1 → 7 出来ている

		<u> 努力を要する 1 → 7 出来でい</u> ■ 評価		(1/					
分野	項目	1	2	3	ninimining.	5	6	7	<u>備 考</u>
保育内容充実度	①教育指導要領に示された目標等を含んだ指導計画にのっとっていたか								教育カリキュラムの本を購入して読みながら計画をした。
	②幼児の興味を大切にした環境を整えられたか								自分なりに調べ計画や環境を考えたが、目の前にいる子どもの姿と少しずれを感じ、その都度変更した。
	③発達の姿と保育計画は一致していたか								子ども達の発達に合わせて計画を立てられ、無理なく楽しく進められた。
	④各クラスの実態に応じて工夫できたか								4月にクラス目標を決めることで目的を持って進めることが出来た。
	⑤一人一人の発達に応じた指導、目標は挙げられたか								クラスで支援が必要な子については具体的な指導計画を立てて、フリー教諭と情報共有するようにした。
	⑥振り返りの工夫・環境はできていたか								
	⑦到達の姿を教師全員できちんと見つめられたか								クラス学年を超えての個人の成長を見届けるまでに至らなかった。
環境充実	①各保育室の整理整頓はできていたか								行事がある際に慌てて片付けるクラスがあった。
	②各保育室にそれぞれの工夫はみられたか								年長なので文字に自然と触れられるよう掲示などは多くしていた。
	③園内の清潔度は高かったか								そうじ、消毒はまめに行なった。
	④使った用具類の始末はきちんとできていたか								出しっぱなしになっているものは目につくとすぐに片付けるようにした。
度	⑥全体の小さな生き物に対する姿勢は前向きであったか								小さな虫たちは、子どもたちが一生懸命育てた。
	⑦環境について工夫やアイディア提案されたか								先生間で提案があり、参考にした。
連携充実度家庭・地域との	①園から家庭への毎日の電話連絡は偏りなくできたか								満3歳児は徒歩通園で毎日、話すことが出来た。子育てに悩む保護者が多く、電話連絡も行った。
	②保護者に対して誠意ある対応ができたか								ささいな出来事を積極的に報告し、ともに喜ぶことが出来た。
	③子どもたちのために地域の方々に対して具体的な協力を頼めたか								今年は年長組だったこともあり、地域の方々との交流が多かった。
	④地域の方々に感謝の思いを持つことはできたか								特に玉ねぎスープを子どもたちがとても喜んでおり、子どもとも暖かく接してくださる方ばかりで有難かった。
	⑤またその思いを何らかで示せたか								図書館の方にどんぐりを届けることが出来た。
充実度	①研修の場を設けられたか								去年に引き続き、園内研修の機会がたくさんあり、学びとなった。
	②研修のための園外研修の機会はあったか								様々な研修に参加させていただき多くのことを学んだ。職員に伝える難しさを初めて感じた。
	③学んだことの 記録・報告はできているか								記録し、ファイルにまとめている。
安全管理度	①遊具の点検は定期的にできていたか								夏、冬、春は、職員全員ですることが出来た。
	②病気や怪我が発生した場合の基本的なマニュアルは把握できていたか								園内研修でしっかりと学ぶことができたので、現場でも実践できた。
	③記録はきちんとできているか								園内で起きた大きなけがなどはすくに報告書として出していた。
	④感染疾病発生の場合の処置の把握できているか								
遂行度	①各自の担当分は計画・提案・実行・反省・記録はきちんとできたか								各行事しっかりとまとめている。
	②来年に向けて整理はできているか								ファイルへのまとめデータの整理は出来ている。
	③職員間に協力体制はできていたか								学年を越えて話す機会も多くなってきた。
	④会議の場で活発な議論ができたか								職員間の話し合いは年々円滑にできるようになっていると思う。

【令和6年度 自己評価に関する総評】 日々の教育を振りかえる自己評価は個々の教育達成が見えてくるとともに職員自らの資質向上のため、取り組んでいく意欲へとつながっていきます。 子どもを中心とした日々の幼稚園生活には 見通しをたてた計画とのびのびできる環境教育への情熱と丁寧なかかわりが必要であり、今日自園にみられる結果でありました。 これからもこの結果に満身することなく、課題目標に向かってまいります。